2023年4月 アサヒグループ販売動向

アサヒグループジャパン株式会社

■アサヒビール

【カテゴリー別売上金額前年比(%)】

	4月	累計
	前年比	前年比
ビール類計	97	103
洋酒	122	128
RTD	102	99
ワイン	87	113
焼酎	102	109
アルコールテイスト飲料	95	101

<ビール類ブランド別販売数量・前年比(%)>

	4月		累計	
	万箱	前年比	万箱	前年比
スーパードライ	568	98	1,859	108
スタイルフリー	99	94	358	96
クリアアサヒ	128	102	425	103

※1箱=633ml(大びん)×20本換算

<トピックス>

- ・ビール類の売上金額は前年比97%となった。出荷日数が前年同月より1日少なかったほか、前年同月は酒類提供制限がなく業務用 がある程度回復していたため、大きな上乗せがなかったことなどが影響した。
- ・『アサビスーパードライ』の販売数量は前年比98%となった。瓶・樽容器の前年比は108%と伸長した。 ・『クリアアサヒ』の販売数量は3月製造分からのリニューアルに伴う広告・販促・店頭活動の強化により、前年比102%となった。

■アサヒ飲料

【ブランド別販売数量前年比(%)】

	4月	累計
	前年比	前年比
三ツ矢	97	95
カルピス	81	89
ワンダ	106	96
十六茶	68	76
おいしい水	102	110
ウィルキンソン	98	101
重点6ブランド計	92	94
アサヒ飲料計	98	101

<トピックス>

- ・アサヒ飲料計の販売数量は前年比98%となった。
- ・4月4日に発売した緑茶の新ブランド『アサヒ 颯』は、過去10年 の新商品の中で発売初月実績として最高となる約150万箱と なった。
- ・「ワンダ」は前年比106%となった。5月からのショート缶の価 格改定に伴う駆け込み需要の影響があった。
 ・「ウィルキンソン」は4月18日発売の『ウィルキンソン タンサン
- ファイバー』や業務用を中心に展開しているリターナブル瓶が外 出需要の回復に伴い好調だったが、前年に『ウィルキンソン タンサン #sober スパイシーレモンジンジャ』を発売した反動で前 年比98%となった。
- ・「おいしい水」は前年比102%となった。環境に配慮した「シン プルecoラベル」は取扱店舗の拡大により、引き続き好調だっ
- ・ECサイトを中心に展開しているラベルレス商品は前年比 106%の61万箱となり、1-4月の累計販売数量は前年比 124%の227万箱となった。

■アサヒグループ食品

【ブランド別売上金額前年比(%)】

	4月	累計
	前年比	前年比
ミンティア	97	113
1本満足バー	113	103
アマノフーズ(みそ汁)	86	91
ディアナチュラ	107	103
和光堂(ベビーフード)	98	103
バランス献立・バランス献立 PLUS(シニア向け食品)	92	98
アサヒグループ食品計	98	101

<トピックス>

- ・アサヒグループ食品計の売上金額は前年比98%となった。 ・「ミンティア」は外出需要の回復によりレギュラーシリーズ、ブ リーズシリーズの主力アイテムは好調だったが、前年にコンテン ツコラボパッケージ商品を発売した反動で前年比97%となっ
- 本満足バー プロテインベイクドチーズ』『1本満足バー プロテイン ベイクドキャラメル』が寄与した。
- ・「ディアナチュラ」は前年比107%となった。ボトルタイプ、パウ チタイプがビタミン類を中心に伸長した。インバウンド需要の回 復も寄与した。